

2013 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	緑川 晶		
NAME	Akira Midorikawa		

1. 研究課題

(和文) 発達障害と認知症との連続的理解

(英文) The relationship between autistic spectrum disorders and dementia

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

いわゆる発達障害は、自閉症スペクトラム障害（ASD）、注意欠陥／多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）を含み、古くは児童期の障害として認識されていたが、近年になると成人期以降にも問題が存在することが明らかとなってきた。一方で、これまで老年期以降の問題は発達障害の視点で取り上げられることは稀で、そのほとんどが見過ごされていた。本研究では、特に ASD に焦点を当て、老年期以降に認められる社会的行動障害の背景が認知症なのか、あるいは発達障害に起因したものか検討することを目的とした。本研究は、文献研究と臨床研究により、両者の関連を検討した。文献研究からは、これまでのところ発達障害と認知症の因果的な関係性について言及された研究は確認されていないが、ADHD や LD がそれぞれレビー小体病や原発性進行性失語症のリスクファクターになるという研究が報告されている。一方で、ASD についてはその関連性については明らかではないが、逆に社会的行動障害を特徴とする認知症（前頭側頭型認知症：FTD）と診断された患者のなかに、非常にゆっくりとしか症状の進行を示さない一群が存在し、そのなかには ASD が含まれている可能性が示唆された。臨床研究からは、ASD の特性を有する患者が退職などのイベントやそれによる抑うつを経験することによって、不適応が生じ、その結果として ASD の特性が修飾されると考えられたが、今後の更なるデータの蓄積が必要である。

(英文)

The purpose of the study was to investigate the relationship between autistic spectrum disorder (ASD) and frontotemporal dementia (FTD). Reviews of the literatures indicates that there are no conclusive results about the relationship, but our clinical data indicated that some patients with ASD traits who had an experience of stress events, developed maladaptive social behavior looks like a behavior variant of FTD.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

【学術論文】 （著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）
緑川 晶：認知症と発達障害とは関連する，と聞きましたが事実でしょうか？（査読なし）、 Modern Physician 35-4、2015年4月
緑川 晶：認知症と芸術能力（査読なし）、神経内科 82巻2号、p.203-208、2015年2月 Midorikawa A., et al. Detection of residual cognitive function through non-spontaneous eye movement in a patient with advanced frontotemporal dementia.（査読あり） Front. Neurosci., 24、2014年10月
山口加代子、小林宏高、緑川 晶：高次脳機能障害者に対する自己意識への介入を目指した「模擬会議 プログラム」の試み（査読あり）、総合リハビリテーション、42巻9号、p.869-875、2014年9月 花塚優貴、緑川 晶：一般大学生における注意欠陥・多動性と自閉症の傾向について -WURS と AQ を 用いた予備的調査-（査読あり）、CAMPUS HEALTH、51巻2号、p.193-198、2014年5月 山科満、緑川晶、上林靖子、都筑学「困り具合に関するセルフチェックリスト」の使用に関する予備的研 究 -学修困難を有する大学生の早期支援に向けて-（査読あり）、CAMPUS HEALTH、51巻2号、 p.181-186、2014年5月
【学会発表】 （発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）
緑川 晶、河村 満：前頭側頭型認知症で認められた特異な徘徊行動、第38回日本神経心理学会総会、 山形市、2014年9月26日・27日
緑川 晶ほか：こころの時間学：神経心理学的アプローチ、日本心理学会第78回大会、京都市、 2014年9月10～12日
【図 書】 （著者名、出版社名、書名、刊行年）
緑川 晶、河村 満：日本臨床社、脳梁欠損症. 別冊 新領域別症候群シリーズ 神経症候群－ （第2版）IV その他の神経疾患を含めて－、2014、pp.234-23
【その他】 （知的財産権、ニュースリリース等）